昭島巨大物流センターを考える会ニュース

NO.27　2024.4.29 連絡先・大竹（546-3842）長谷川 hasegawa@kzd.biglobe.ne.jp）

地区計画（玉川上水南側地区等）策定に向けた素案説明会が開催されます。

提出された市民の意見が、十分反映された地区計画となるようみなさんふるって参加しましょう。

玉川上水南側地区の地区計画策定に向けた説明会（令和５年12月開催）を受け、174名の住民意見が寄せられ、市のホームページに掲載されています。そこに示された住民意見が十分反映される地区計画でなければなりません。

寄せられた主な意見を見てみます。（紙面の都合で８件以上のものを掲載）

・代官山の樹林地だけではなく、旧ゴルフ場や周辺の樹木も含めて保全すべき（36 件）
・緑の分断や渋滞、事故の発生が懸念されるので、道路の新設に反対（53 件）
・環境緑地は今の計画よりさらに広くとってほしい（12 件）
・昭島駅周辺や玉川上水北側との連続性に考慮した制限にすべき（17 件）
・業務地区Bはつつじが丘団地の高さを越えないような制限にすべき（27 件）
・業務地区Aの制限をより厳しくすべき（23 件）
・業務地区Aは玉川上水の樹木の高さを越えないような制限にすべき（22 件）
・業務地区Bにおいても高さの制限をすべき（16 件）
・日当たりが確保される制限が必要（10 件）
・壁面後退をより広く確保すべき（52 件）
・現在の制限では圧迫感を感じてしまう（14 件）
・1号壁面線は玉川上水南側の樹木の日当たりを考慮すべき（9件）
・玉川上水北側の住宅からの景観に配慮すべき（8件）（
・既存の樹木や草地を保全すべき（29 件）
・緑地保全条例の範囲を代官山の樹林地周辺や区域全域にも広げ、緑を確保すべき（26 件）
・条例により代官山の樹林地の保全を担保することに賛成（12 件）
・市民の意見を尊重してほしい（29 件）
・都市計画マスタープラン等の上位計画に則った地区計画にすべき（19 件）
・地権者だけではなく、区域内の利用者や通勤通学者の意向も配慮すべき（9件）
・地区計画に馴染まない意見とした課題についてどう対応するのか示してほしい（9件）
・撤退または規模縮小を望む（49 件）
・交通渋滞や事故の発生、環境への影響、治安の悪化等が懸念される（18 件）

地区計画策定に向けた素案説明会

第１回・・・令和６年５月16日（木曜日）午後７時から午後９時
市役所 市民ホール　定員100人　正面玄関または西側出入口から入れます
第２回・・・令和６年５月19日（日曜日）午前10時から正午
つつじが丘小学校体育館定員　200人　車での来場はできません。
※上履きと靴袋を持参

※ 5月19日（日）は、つつじが丘北団地管理組合の定期総会が、隣の瑞雲中体育館で同時刻に行われます。昨年の地区計画懇談会でも、つつじが丘団地と周辺地域の夏祭りの日にちと重なりました。周辺住民が参加しやすい配慮が足りません。もう一日別の日に開催するなどの配慮が必要です。

●パネル展示・・・5月20日（月）～26日（日）、説明会資料のパネル展示場所、アキシマエンシス 国際交流教養文化棟 市民ギャラリー

●動画配信･･･5 月 17 日(金)から予定、昭島市ホームページで公開
●資料配布･･･5 月 17 日(金)から6月 7 日(金)まで(閉所･休館日を除く)
(配布場所)･市役所 2 階南側 都市計画課窓口 ･環境コミュニケーションセンター･総合スポー ツセンター･アキシマエンシス 国際交流教養文化棟 ･FOSTER ホール(昭島市民会館)･公民館
●意見の提出･･･ 5 月 17 日(金)から 6 月 7 日(金)まで、地区計画等の都市計画の素案に対して、意見を受け付けます。提出方法等の詳細は 5 月 17 日以降に掲載されます。

GLP 環境影響評価書案に対して
４２８件もの意見書が東京都に提出されました。

GLP 環境影響評価書案が提出され、都民からの検討意見が428件寄せられました。前回の調査計画書に対する意見書232通を大きく上回り、GLP 開発計画を何としても止めさせたいという強い願いと怒り、そして運動の広がりを実感することができました。

GLP の説明会では、住民より評価書案の不備や誤りが多数指摘され、より分かりやすい説明と詳細で綿密な調査を求められましたが、住民意見を一顧だにしない開発ありきの強硬姿勢がますます明らかになりました。自然とその中に暮らす動植物と人の命を大切にしようとしない企業体質に対する怒りが広がったものと思います。自主的な動画を作成しSNSでの取り組みなどが最終盤に急速に広まったことも、この飛躍的な伸びに結び着いたものと思います。皆さん本当にお疲れさまでした。今回の取り組みに確信を持ち引き続き頑張りましょう。

考える会は１１５ページの意見書を提出

考える会では、会員の皆さんよりの意見をもとに会としての意見書をまとめ、115ページに及ぶ意見書を作成。東京都に提出しました。また会の主張をいち早く理解していただくために、昭島市や市議会各会派に面会し直接お渡ししました。また東京都環境影響評価審議会委員の方々にも郵送しました。

４月２０日、考える会意見書報告会を持ちました。(写真右)

交通問題、生物･生態系や日影･景観への影響等の視点から、この評価書案の不備や誤りついて指摘し、見解書での解明を求めたことが報告されました。また、評価書案の調査資料の杜撰さや根本的な不備が際立っており「評価書案としての基本がなっていない」ことが強調されました。当日は、用意した資料が足りなくなるほどの盛況で、今後の運動の新たな方向も提起された熱気あふれる集会となりました。

東京都議会に３月２６日
「GLP 昭島プロジェクトについて適切な審議・対応を求める陳情」を提出

会員の2名の方が、個人の立場で連名で都議会に以下のような陳情を提出しました。
5月の定例会前の委員会で審査されます。お二人は、採択を目指し各会派に要請行動を行うとのことです。

【願意】
1. 現在、環境影響評価審議会において審議過程にある、GLP 昭島プロジェクトの環境影響評価書案について、審議に影響を与えるような不備や誤りがないかを精査し、必要であれば、評価書案を早急に修正するよう事業者に求めてください。
2. 審議会においては、正確で不備の無い、審議に足る評価書案であることを確認したうえで、時間をかけて入念に現地の状況を把握し、慎重かつ徹底的に審議してください。(1, と2. の項目は環境･建設委員会で審査)
3. GLP 昭島プロジェクトで計画されている、1 日5800台(うち大型車3530台)もの交通量増加が、交通渋滞を悪化させたり、交通事故を増加させたり、道路･橋梁等の構造に悪影響を与えたりしないか、都としても注視し、深刻な問題が生じた場合、事業者に対応を求めるなど、必要な措置を講じてください。(3. は警察消防委員会で審査)
(委員会での審査予定日) 環境・建設委員会 5 月 23 日(木), 警察・消防委員会 5 月 28 日(火)